



### 絵本で育くむ親子の絆

泉小読み聞かせ同好会代表 可児まゆき

私達は、「泉小学校読み聞かせ同好会」です。現在参加会員は四十名、うち十一名は卒業生の保護者や「孫が一年生だね」と云うお婆ちゃま、地域のボランティアの皆さんで



最初に、私達同好会の歩みを紹介しました。平成八年九月の校長先生の提案により発足しました。毎月第三金曜日(四、八、九月は休会)の朝の会の時間(十五分)を頂いて各クラスに入り、読み聞かせを行っています。平成九年から、毎年二期の参観日にPTA役員のお父さんにも参加して頂いて「お父さんによる読み聞かせ」と銘打って活動しています。

先月十日の参観日には「ふれあい読み聞かせ」と改め、PTA役員の方々と地域の祖父母ボランティアの皆さんにご協力頂きました。子ども達もいつもと違った新鮮な気持ちで読み聞かせを楽しんでいました。この場をお借りして、「参加頂いた皆様のご好意に同好会員一同深く感謝申し上げます。少々照れくさかったです。お父さん、きつと素敵なお父さんのふれあいに感謝したいと思います。

金曜日に勤務が重なってしまふ事もあります。毎月参加して下さるお母さんも、読み聞かせを終えらる事「ごめんね、これから仕事なの。」と足早に帰られる事もしばしばです。皆さん朝の忙しい時間に足を運んで来てくれますが、その表情はイキイキしています。やはり私も含め、どのお母さんも読み聞かせが好きで、子ども達が「今日は、どんなお話をしてくれるの?」と可愛い顔で迎えてくれるのが何より嬉しいのです。この学年にはどんなお話がいいとか、マイブツの情報交換もしています。読む本に迷った時は、「友情」や「命の大切さ」など、テーマを設けて図書館で本を探したりします。

昨年は、同好会有志のお母さん方による「パネルシアター」を手作りして学年全員が楽しめる読み聞かせを行いました。私事ですが、幼い頃よく父に絵本を読んでもらいました。(確かデイズ二

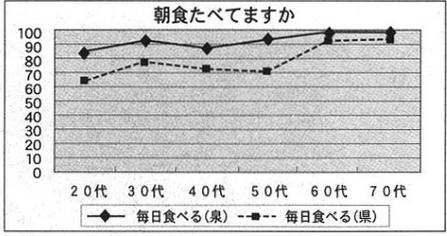
の紙芝居だった様...末っ子の私は父のあぐらの間に入り込み「もう一回、もう一回。」と何度もせがんで読んでもらいました。私と絵本の出逢いは、このデイズ二の紙芝居だった気がします。子どもの頃聞いたお話は、ずっと忘れる事なく、そして時代を経て受け継がれていくものだと思います。「昔々、ある所にお爺さんとお婆さんが居りました。」で始まる心地よいフレーズは、誰の心にも温もりを感じさせま



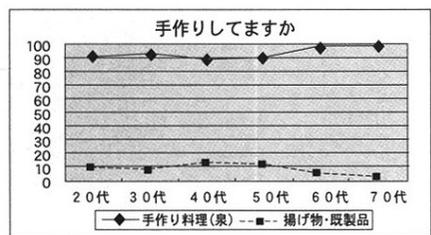
これからも、「美しい日本語」と「真心」を、ずっと子ども達と共に大切にしていきたいと思っております。支援して下さいる校長先生はじめ諸先生方、いつもありがとうございます。今後共よろしくお願ひ申し上げます。校長先生から一言「読書は心の栄養」です。皆さんの活動は、子どもたちが、地域の方々とお母さん方という大切な活動で、本校の特色ある活動として定着してきました。活動に感謝するとともに、これからもお願ひする所です。

### 食習慣と生活習慣病

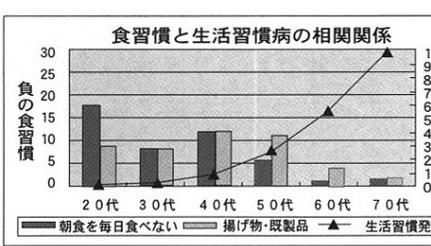
今回は八十三号に引き続き、健康と食の関係についてまとめてみました。各ご家庭で話題にして戴きたいと思えます。今回のアンケートには、泉、泉西公民館でサークル活動に取り組んでおられる皆さんの協力を得て実施しました。健康な生活を送るには、規則正しい食事、バランスの良い食事、楽しい味わう食事と適度な運動が大切と言われております。次のグラフは、一日の始まりの朝食を毎日摂る人数を県と泉で比較をした



このグラフからでも脂質を少なく摂る様に配慮されていることや、食事をバランス良く考え、手作りをしている事が良く分かります。しかし、隠れた部分にも目を留めてみる必要があるのではないのでしょうか。次のグラフは、泉の食習慣の隠れた部分と成人病発生の年代の関係を調べるために相関関係を調べたものです。このグラフの元になった資料は、土岐市保健センターの協力を得て、平成十八年度に土岐市国民健康保険で診察を受けた生活習慣病の患者数を年代別に集計した表から算出した人数と、基本的な食習慣である朝食を摂らない人数、脂質の多い食事を摂る人数との間に相関関係が有るか無いのかを調べるために作成したものです。



このグラフから、高脂質の食事、食習慣の乱れが生活習慣病の発症と深い関係が有ることが分かります。



二十代から四十代にかけてストレス、高脂質の食事で生活習慣病の因子を知らず知らずの内に蓄積したため、五十代から急激に発症率が高くなる様子が読み取れます。この年代は、責任の有る役職に就く年代で、気配りや対外折衝の窓口、部下の仕事の見届け等仕事も多く何かと気苦労の多い生活が続きます。また、外食が増え、高脂質の食事の摂取量も増える事になります。その上、疲れて朝の食欲も無くなるという悪循環の生活が生活習慣病の発症率を急激に高めているのです。全てを変えることは難しくても、食欲が無いときでも朝食がきちんと取れる献立を皆で考えてみませんか。適度な運動を声掛け合って始めませんか。一人一人は、何にも勝る宝です。

### あなたの家は だいじょうぶ?

十月十一日、泉が丘六丁目町内において「みんなどてつろう安心の街」をテーマに多治見署員、警察OB(防犯アドバイザー)の指導の下、自治会役員等数名が一チームになって、六丁目の各家庭を訪問し防犯に対する診断、アドバイスを実施しました。重点地域を中心に年一回以上防犯パトロールを実施しており、今回当地区が対象となりました。最近の窃盗事件は、空き巣等の侵入盗が増えている、その手口は思ってもよらない手口のようにです。その一つの事例は、昼間に工事業者やセールスマンに成りすまして下見をし、留守を見定め、カーポートを登って二階からの侵入や庭木や生け垣に身を潜めてから侵入するなど手口が巧妙化していると警察の方から聞きました。

十月十二日、早朝から警察、学校関係、自治会その他諸団体の役員方が泉公民館に集合し三チーム(十二十三名程度)に分かれてタウンウォッチングを実施しました。これは、国、警察が事故削減の為の全国的な取り組みであり、土岐市の事業として今回整備促進協議会をたちあげ、事故削減のため道路を歩きやすいスペース確保のために泉地区安心歩行エリアとして、今年度整備予定箇所・危険だと思われる箇所(今回、国道19号線を含むエリアの交通事故多発地域、特に通学路・パリアフリー対策経路を重点政策として)を、実際に歩いて点検をし、その後各チームで討論が行われました。今後、この協議会は継続され、ここで出された意見は実際の整備計画の基にすることです。



### 交通事故 削減にむけて